



戦火の三匹 ロンドン大脱出

第二次世界大戦中、イギリスでは七十五万匹もの犬や猫が、殺処分されました。本書は、そのような戦時中に起こった出来事を背景に描かれた物語です。主人公は、犬のバスターとローズ、猫のタイガー。彼らは、イギリスがドイツと開戦したことで、飼い主の兄妹と離ればなれになり、史実と同様、安楽死させられそうになります。間一髪逃れた三匹は、田舎に疎開した兄妹の元へ。果たして彼らの旅の行方は!?

戦争の被害にあったのは人間だけではありません。ペットや飼い主の子どもから見た、戦時下の生活がリアルに伝わってきます。勇敢で愛らしい三匹にエールを送りたくなる、中学生でもやさしく読める一冊です。



徳間書店刊
ミーガン・リクス 作
尾高薫 訳
ハードカバー 18.5cm×13.0cm
264ページ
定価 (本体1,600円+税)

メビウスゲイト 桜田門

二〇二〇年のある日、大学教授の「先生」と研究生の「ぼく」は、桜田門駅付近にいたところ、突然幕末にタイムスリップしてしまいます。そこでぼくたちは、はからずも武士を助けることに。彼は江戸幕府大老の「井伊直弼」で、アメリカに開国を迫られていました。英語に堪能な先生がご意見番になり、ぼくたちは日本の開国近代化を巡る争いに巻き込まれていきます。しかしその最中、今度は二〇三〇年の未来へワープ!そこでは、日本が中華国という国から不利な条約締結を迫られていて……。

幕末という過去と未来。まったく違う、しかしよく似た政治情勢の時代を設定し、SFの手法で歴史を描いた異色作です。



大隅書店刊
龍道真一 著
ソフトカバー
18.7cm×12.8cm
240ページ
定価 (本体1,500円+税)

マンガで読み解く 宮沢賢治の童話事典

人々に愛される宮沢賢治の世界。本書は、代表作「銀河鉄道の夜」など、三十七編の童話を取り上げた入門的な事典です。物語の内容やテーマによって「動物」、「気象」など、七つのカテゴリーに分類されています。作品ごとに原文の一部を掲載し、解説、マンガ、コラムの順に、物語や宮沢賢治の生涯を解き明かしていく構成です。中でもマンガが、作品世界を簡単に理解できる効果をもたらしています。

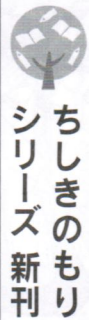
例えば、幼い兄妹と子狐の交流を楽しく描いた「雪渡り」に潜む「死」のイメージなど……。宮沢賢治の研究者の著者に導かれ、読者は、物語を読み解く新たな視点を得られるでしょう。



東京堂出版
山下聖美 中村美公(マンガ) 著
ソフトカバー
20.8cm×14.7cm
256ページ
定価 (本体1,900円+税)

予告

次号の指示用紙面は、「数学特集 円周率」の予定です。



日本の算数 和算って、なあに?



小寺裕 著
昔、日本が算数の先進国だったことを知っていますか? 庶民も夢中になった江戸時代のすごい算数「和算」を紹介します。

英語でわかる! 日本・世界



松本美江 著
外国人は日本や日本人をどう思っている? 外国語を学ぶ子どもたちへ、視点を変えることで見えてくる世界を楽しく紹介。

共に ■ A5判 ■ 本文144ページ 図絵4ページ ■ 上製本 ■ 定価 (本体1,600円+税)

お申し込み・お問い合わせ 少年写真新聞社 読者サポート東京本部 TEL 03-3263-7401 / FAX 03-5276-7785